



Q: 担当のAちゃん(1歳6か月)のことで相談です。人懐っこく、お友達とも仲よく遊び、どの職員にも甘えてかわいがられています。両親の面会も月に3~4回はあり、楽しそうに遊んでいるように見えるのですが、しばらくすると職員の方に戻って来てしまいます。両親は職員とAが遊んでいてもあまり気にならないようですが、面会中なのにと私自身が焦ってしまいます。このような場合、Aや両親にどのように接したらよいのでしょうか。

A: Aちゃんが職員のところに戻ってくる時の様子が、不安げなのか、楽しそうなのかで理解も変わってくるところですが、文面から受ける印象はAちゃんも両親も淡泊で、Aちゃんの職員への接触もあまり情緒的な感じがしないのかなというものでした。

不安げなようであれば、少なくともAちゃんのアタッチメントシステムは機能しており、職員がアタッチメント対象として選択されているのだと理解できそうです。Aちゃんの不安に応じつつ、どうやって両親にAちゃんのシグナルに気付いてもらい、職員にくっついていてAちゃんにどう関わってもらって安心感の経験をシェアできるかを考え、段階的にアタッチメント対象を両親に戻す試みが手立てになるように思います。

楽しそうなようであれば、遊びの場面ですので、両親にも職員のそばに来て遊びに入ってもらうことを考えるでしょうね。それと同時に、不安になった時、両親と別れる時、次に両親と会った時などからアタッチメントの見立てと手立てを考えます。

Aちゃんの様子が淡泊である時、2つの可能性が考えられます。1つは潜在的に不安を感じているけれども、それが表に出ていないこと、もう1つは養育者(たち)との関係が淡泊で、アタッチメントと呼べる本来的な結びつきが成り立っていないことです。前者はアタッチメントシステムが機能しているけれども、その機能の仕方が抑制的になっている状態で、後者はそれがそもそも機能していない状態です。現実的にはこの2つの間のどこかかもしれません。

どちらの場合にも取れる手立てはそれほど変わらないだろうと思います。つまり、アタッチメントシステムをちゃんと活性化させることです。

言葉を変えると、感情が表情や動きの中に表現され、Aちゃんが実感をもった存在として感じられる状態になることです。

アタッチメントシステムとは生き物としての危機に対処する仕組みです。危機があれば恐怖を感じ、不安や苦悩、緊張が見られ、安心すると表情が緩みます。そのように身体の全体が反応します。

その機能が低下している、もしくは停止しているのだとすれば、これを外側から動かしてあげることが必要です。大げさにぎゅっと抱きしめてみたり、身体を近づけたり、「怖くなったね」とか「疲れたかな」とか言葉をかけたりしてみます。本当であれば経験しているはずの恐れが動き出すように働きかけます。それにとまって現われてくる反応に応答できるように準備を整えます。両親との関係を考えるのはその後になるでしょう。

といいながら、その間に両親が嫉妬や不安を覚えたりするかもしれません。子どものケアをしながら両親のケアをすることもあるでしょう。もしかすると両親のアタッチメントシステムを活性化させる作業も必要なのかもしれません。その場合、活性化によって強い感情が表出される可能性もあって、それに対する備えは慎重に行われるべきものです。そのどれもがとても体力のいることで、場合によって複数の職員で担当を分ける必要も出てくるでしょうね。

幼い子どもの変化は早いので、回復の可能性は十分にあり、やれる手立てはいろいろありそうです。本当は、職員が感じている焦りにも対応のヒントが隠れていることがあります。それはもう少し複雑な話になりますので、またの機会にお話しできればと思います。